



第31回 個性づくりテーマ展示

モンテッソーリの幼児教育



人間の赤ちゃんは、何もできない全くの無力の状態です。ところがだんだんと出来ることが増えてきて、1歳の誕生日の頃には立ち上がって歩くようになり、2歳くらいになると大人と対等におしゃべりもできるようになります。このように、子どもは無力の状態で誕生しますが、必ず自立に向けて成長を遂げていきます。この自立への力は、大人が教え込むのではなく、誕生の時点から子どもの内面に備わっています。

イタリアの教育家マリア・モンテッソーリは、「子どもの観察」をすることで、本来の子どもの育ちの方向や順番を見出し、その子本来の発達の道筋に合った成長を促していく教育法を提唱しました。

展示期間 2016年6月25日(土)～8月25日(木)

展示場所 鷺宮図書館 5階個性展示コーナー

中野区立鷺宮図書館

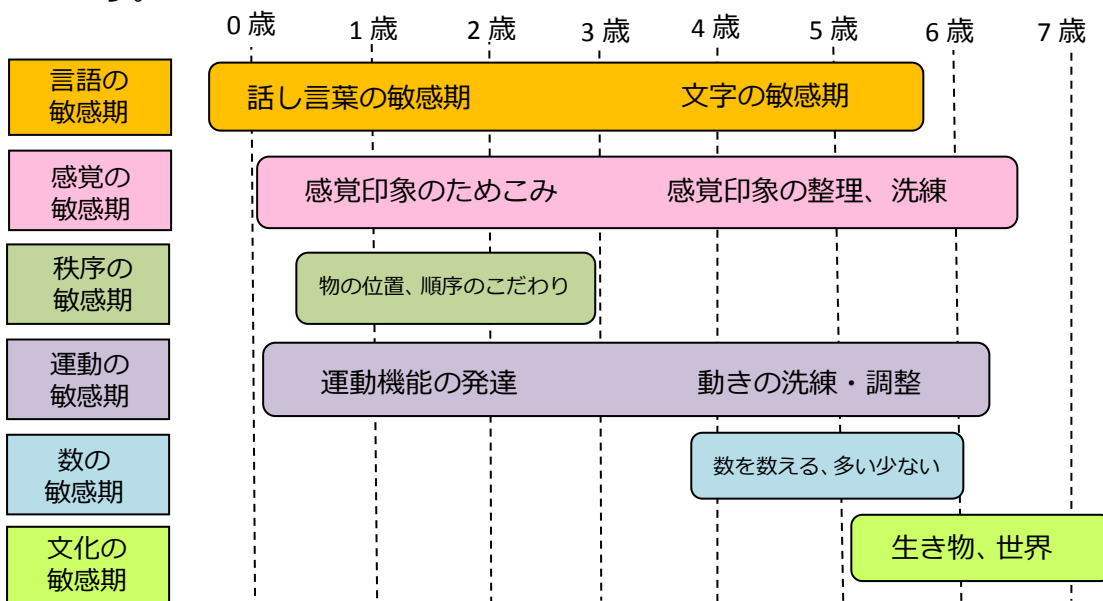
中野区鷺宮 3-22-5 Tel 03-3337-1044

◆集中現象と敏感期◆

モンテッソーリは、子どもは何か一つのことに関心を持つと、とことん繰り返すことを発見しました。しかも「やりなさい」と強制されるのではなく、自分から進んで繰り返します。この、自発的に何かの作業を繰り返す現象を「**集中現象**」と呼びました。

子どもの「集中現象」はいつでも起こるわけではなく、特定のことに對して特定の時期に起こります。このように、ある特定のことに對して強い感受性を持ち、敏感になって簡単に吸収してしまう時期を「**敏感期**」と名付けました。特定の機能を身につけるための時期にその事柄に對しての強い感受性が現れ、一つの目的が果たされると次の感受性が現れるのです。現代では「**発達課題**」という言葉が同じような意味です。

- 言語** 赤ちゃんはお母さんの胎内にいるころから声を聴いていて、すでに言語の敏感期は始まっています。胎児期～3歳頃までが話し言葉の敏感期で、周囲の言語を難なく習得します。書き言葉の敏感期は3歳半～5歳半くらいまでです。
- 感覚** 五感を刺激するものに対して強い興味を持ち、感受性が豊かになります。3歳までは感覚が鋭敏になり、身の回りのものをすべて吸収します。3歳以降はそれらを自分のものとして分類・整理していきます。
- 秩序** 秩序の敏感期は、6か月～3歳前後くらいに特に強く表れます。物が置いてある場所や順番、物事のやり方など、些細なことにもこだわりを持ちます。いつも同じであることが子どもの安心感につながります。
- 運動** 運動の敏感期には何でも自分でやりたがります。3歳までは歩く、座る、持つなどの大きな動き。3歳～6歳はそれらの動きをさらに調整・洗練させ、指先などの細かい動きもコントロールできるようになります。
- 数** 数に對しての敏感期は4歳～5歳。年齢や日付、物の数など生活の中で数に興味を示します。
- 文化** 文化の敏感期は6歳くらいから始まり、動植物や宇宙、世界のことなどすべてのことを知りたがります。情報化社会の現代の子どもはもっと早く出現します。



◆環境と大人◆

敏感期は誰にでも訪れますが、環境が整っていないと集中現象は起こりません。子どもが自発的に自由に活動できる、それぞれの敏感期に見合った環境を整えてあげることが大切です。大人の役割は、技術や知識を教え込むことではなく、子どもの自発的な活動を援助することです。

◆“お仕事”◆

モンテッソーリ教育では、集中現象を起こす活動を“お仕事”と呼んでいます。その時のその子どもが一番興味や関心のあるものに出会った時に、“お仕事”は行われます。

◆モンテッソーリ教育の五分野◆

モンテッソーリ教育では、それぞれの敏感期を背景として大きく五つの分野の活動を、“お仕事”として行います。

●日常生活の練習

運動の敏感期にある子どもは、一つ一つの動作にとっても興味があり、その動作を自分でできるようになりたくてたまりません。座る、立つ、歩く、切る、縫うなどの動作だけでなく、身だしなみ、挨拶、マナーも含んだ日常生活の練習をすることで、単に動作が身につくだけでなく、精神的発達も促されます。

●感覚教育

感覚の敏感期にある子どもは、目、耳、皮膚、鼻、舌という感覚器官を刺激されることに大きな興味を抱きます。モンテッソーリ教育では、それぞれの感覚を刺激する「感覚教具」を用いて、鋭敏な感覚を育てます。

●言語教育

「話し言葉」が完成する3歳くらいまでは、子どもの周りにふんだんに言葉が行き交わされる充実した話し言葉の環境が必要です。周囲が話しかけることによって、まだ自分では話せない子どもでも、子どもの内面では劇的な変化が起っています。

●数の教育

数の世界を理解していくことは、子どもにとって無意識の内にある知識を意識的に理解していくことです。量や長さなど子どもが感覚的にとらえられる「数量」、それを言い表す「数詞」、数を書き表す「数字」の3つをセットで理解します。

●文化教育

言葉や数以外に子どもの興味や関心を引く分野のことです。動植物や地理、歴史、音楽、造形美術など、子どもが興味を持ち得るすべてのものが対象です。子どもは成長するにつれて生活する場、つまり環境を広げていきます。モンテッソーリは「子どもは環境を征服しながら成長していく」と考えました。いろいろなものを知ることによって子どもの視野や物の見方が広まっていき、人間としての幅を広げていきます。

おすすめ展示図書



『モンテッソーリ教育が見守る子どもの学び
環境を征服する子どもたち』
松浦 公紀／著
学研 2004
請求記号 371.5 マ

モンテッソーリ教育について詳しく解説しており、モンテッソーリ教育の全体像について理解できる1冊。モンテッソーリ初心者のみならず、幼児教育に携わっている人にもお勧めです。



『「集中」すれば子どもは伸びる! モンテッソーリ園
0歳から6歳までの気になる教育メソッド』
東京書籍 2012
請求記号 376.1 シ

モンテッソーリ教育を実践している幼稚園で行っている教育メソッドを、豊富な写真を用いて詳しく紹介しています。



『お母さんの「発見」
モンテッソーリ教育で学ぶ子どもの見方・たすけ方』
相良 敦子／著
文藝春秋 2013
請求記号 376.1 サ

たくさんのお母さんの実例を挙げ、モンテッソーリの「子どもの見方」の視点で、さまざまな子育ての悩みに答えます。

展示図書リスト

このリストのほかにも多数取り揃えております。ぜひ展示コーナーへお立ち寄りください。

書名	著者名	出版社	請求記号	出版年
親子が輝くモンテッソーリのメッセージ	相良 敦子／著	河出書房新社	376.1 サ	2015
モンテッソーリ流「自分でできる子」の育て方	神成 美輝／著	日本実業出版社	376.1 カ	2015
創造する子供(第10版)	マリーア・モンテッソーリ／著	サンパウロ	376.1 コ	2014
人間の可能性を伸ばすために -実りの年6歳～12歳	マリア・モンテッソーリ／著	サンパウロ	371.2 モ	2014
モンテッソーリの子育て 子どもの力を引き出す環境	松浦 公紀／監修	学研教育出版	376.1 コ	2013
モンテッソーリの子育て おとなが子どもにできること	学研教育出版／編	学研教育出版	376.1 オ	2013
モンテッソーリで育つ！ 〈自分で考える子ども〉	学研教育出版／編	学研教育出版	376.1 モ	2013
モンテッソーリの子育て 0～6歳のいまを楽しむ	月刊クーヨン編集部／編	クレヨンハウス	376.1 モ	2011
世界一の子ども教育モンテッソーリ	永江 誠司／著	講談社	376.1 ナ	2010
モンテッソーリ教育ーやさしい解説	藤原 元一 他／著	学苑社	376.1 マ	2007

モンテッソーリ教育の誕生



モンテッソーリ教育とは、イタリア初の女性医師、マリア・モンテッソーリ(1870～1952)によって考案された教育法です。

マリア・モンテッソーリは、当時まだ男性のみの職業であった医師の道を志し、ローマ大学医学部で唯一の女学生として学びました。医師となった彼女は、治療のためにローマのある精神病院を訪れました。そこに収容されていた子どもたちの行動を見て、「手を使うことによって到達する内面の満足感を本能的に求めている。」と気が付いたのです。この事件をきっかけとして、知的障害を持つ子どもに対して、医療と教育が合体した「療育」というシステムを作りました。

療育システムの試みは大きな成果をもたらし、「同じ方法で健常児を教育したらその個性も著しく開発できるだろう。」と彼女は確信しました。そして1907年、ローマの貧困層の健常児を対象とした保育施設「子どもの家」を設立しました。ここにおいて、子どもの科学的な観察にもとづくモンテッソーリ教育を確立させていきました。

出典：『モンテッソーリ教育が見守る子どもの学び』松浦公紀／著 学習研究社

モンテッソーリ教育について調べるには

図書館の資料の調べ方、インターネットを活用した調べ方についてご紹介します。

1 【情報探索のキーワード】効率的な情報検索には、適切なキーワードが必要です。

モンテッソーリ	幼児教育	敏感期
集中現象	発達 の 4 段階	人間の傾向性

2 【基本的な情報源】辞書・事典類でテーマについて基本的な情報を入手しましょう。

資料情報	請求記号	配架場所
モンテッソーリ教育用語事典	371.5 モ	中央参考室
教育思想事典	371.0 キ	中央参考室
現代用語の基礎知識 2011	031 ゲ	6階

◎中央図書館参考室では、子育てや教育に関する統計や白書を所蔵しています。

資料情報	分類
子ども・子育て白書 平成24年版 内閣府／編	369.4 コ
保育白書 平成15年版 全国保育団体連合会／編	376.1 ホ
保育年報 2013 全国保育協議会／編	376.1 ホ

3 【図書を探す】

●館内所蔵を探す

◎テーマの棚に行って探す

図書館の本は主題ごとに棚に並んでいるので、請求記号の最初の数字を参考にして同じ主題の本を探すことができます。

分類	分野	分類	分野	分類	分野
371.1	教育哲学	376.1	幼児教育	379.9	家庭教育

◎中野区立図書館利用者解放端末（OPAC）で探す。

資料のタイトル、著者名、出版社名などから、中野区立図書館所蔵の資料を検索できます。

中野区立図書館のHP <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/>

中野区立図書館HP（携帯版） <http://www3.city.tokyo-nakano.lg.jp/tosho/i/>

●東京都内公立図書館で所蔵されている図書を探す。

◎「東京都立図書館統合検索」 <http://ufinity01.jp.fujitsu.com/metro/index.php>

●国内で刊行されている図書を探す。

◎「国立国会図書館サーチ」 <http://www.ndl.go.jp/>

◎「Books.or.jp」 <http://www.books.or.jp/>

国内で発行された入手可能な書籍が検索できます。出版社のホームページやオンライン書店へのリンクもあります。

4 【オンラインデータベースで調べる】

中央図書館では、参考資料コーナーの利用者開放インターネット端末で、以下のデータベースをご利用いただけます。

データベース	収録期間と主な内容
官報情報検索サービス	1947年5月3日から当日までの官報記事の検索
日経テレコン	1975年からの日経4紙（経済・産業・金融・流通）の記事
聞蔵Ⅱビジュアル	1926年から1945年までの朝日新聞紙面イメージ 1945年から当日までの新聞の記事 ほか
MAGAZINE PLUS	1981年からの一般紙・総合誌の雑誌記事検索や学术论文
WHO PLUS	歴史上の人物から現代の人物まで約32万人のプロフィール
D1-Law.com	判例情報、法律の改廃記録、法律判例文献情報 など

5 【インターネットを利用する】

●中野区の子育て関係の情報を知る

◎中野区子育て支援情報 <http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/009/>

◎暮らしのガイド「子ども・教育」

<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/guide/003/index.html>

●モンテッソーリ教育について調べる

◎日本モンテッソーリ協会（学会）

<http://www.montessori-jp.org/>

◎日本モンテッソーリ教育総合研究所

<http://sainou.or.jp/montessori/about-montessori/about.php>

◎東京国際モンテッソーリ教師トレーニングセンター

http://www.geocities.jp/ami_tokyojp/

◎特定非営利法人東京モンテッソーリ教育研究所

<http://ti-montessori-e.main.jp/>

◎一般社団法人モンテッソーリ教育研究会

<http://maria-montessori-institute.org/>

◎一般社団法人 AMI 友の会 NIPPON

<http://www.amitomo.org/1301.html>



モンテッソーリ教育で考える0～6歳の子育て

0～3歳

周囲から様々なものを吸収する0～3歳。「いやいや」が多かったりいたずらしたりと、大人にとっては困ることも理由があります。

(選ぶ)

こうなさいと言ってもやらない子も、「どっちがいい?」と選択させると、自由を感じてすんなりと受け入れます。

(だだをこねる)

だだをこねるには理由があります。大人にとっては些細なことでも子どもには大事なことです。理由を考えてあげましょう。

(秩序)

物事の順番、物の置き場所などにこだわりを持ちます。いつもと決まった順番、物の位置など、何気ないことが安心感につながります。

(いたずらをする)

大人から見ればいたずらに見える行動も、子どもには意味のある活動。何がしたいのかよく見て、それに代わるものを与えましょう。

(自己主張する)

- ・一人でできる

子どもが一人でできるような工夫をしてあげます。

- ・やりたがる

1歳前後から、なんでも自分でやりたがります。やらせてみることも大切です。

3～6歳

0～3歳までに吸収してきたことを、自分自身で整理・洗練させていきます。興味を持つ分野も増えて、自発的に行動するようになります。

(任せる)

大人の真似をしてみたいという欲求が強い年頃。一人でもできそうなことを任せてみましょう。責任を持ってやり遂げることを学びます。

(自分のペース)

子どもが集中しているときは、だまって後ろから見守るようにしましょう。自分で判断して進めさせることが大切です。

(正しく見せる)

「少し難しいかな」と思う事でも、正しく丁寧に、ゆっくりとやって見せます。繰り返しやるうちに、子どもはいつの間にか習得していきます。

(選択させる)

子どもは自分が選んだものは積極的にやろうとします。やり終えるまで待ちましょう。

(環境を整える)

子どもが一人でできるような環境を整えることが大切です。子どもサイズのものを用意してあげてください。